

経工会 平成 29 年 12 月定例幹事会議事録

日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）9:00～

場所：和倉温泉ハーバーハウス・スイート和倉

出席：高木、福田、宮元、今越、小幡、北本、池野

議事：池野

議題および審議内容：

① 経工会の来年度事業計画について

今越会計から「11 月幹事会で審議した来年度事業計画については、おおよそ問題ないと思われるが、異議があればお願いしたい。」と説明があり、審議の結果、事業計画は案通り決定し、こぶし会への予算請求案を最終調整した上で提出することとなった。

② 穴水湾自然学苑でのヨット事故を受けて

高木会長から「11 月に発生したヨットの事故を受け、毎年恒例のこぶし会サマーセッションは、来年は中止と聞いている。経工会ではサンセットセッションでお世話になっているが、自然学苑の体制が落ち着いてから実施の可否を確認したい。自然学苑から中止要請があれば従いたい。」との報告があった。

③ こぶし会全国一斉ボウリング大会金沢会場の反省について

出席者から以下の意見があった。

- ・開始時間を早めた割には子供の参加数が思ったより少なかったのが残念だった。
- ・参加者数がさらに減少した点を踏まえ開始時間は再度検討したほうがよい。
- ・上位入賞者は毎年同じ人に決まってきている。他の参加者と比べてレベルが高すぎるのは明らか。なんらかのハンディを付与して、他の参加者にも入賞できるチャンスを与えるべきである。

④ こぶし祭の反省について

出席者から以下の意見があった。

- ・毎年やり方が決まってきてマンネリ感があり面白みにかけるのではないか。
- ・抽選権利付きチケット（以下、チケット）の学科分担枚数が多すぎるのではないか。一部の人（特に委員やスタッフ）が多く売れ残り枚数を抱えてしまい、結果として抽選にはスタッフが当選している。
- ・関係役員や委員が世代交代しこれまでの経緯を知らない新しい人が増えていく中で、チケット販売を継続していくのであれば、こぶし祭の方向性やチケットの意味・目的を全員で共有することが必要、そのための説明や啓蒙も必要。（今のチケット販売のやり方では単に学科同窓会への負担になっているだけではないか。）